守りは万全

消防団が訓練の成果を披露

「消防定期総合演習」が先月十九日（日）、和納小学校グラウンドで行われました。

朝八時十五分、消防団員全員が集合。開会式、通常点検、部隊訓練、機械器具点検とプログラムに従って進行―。

分署職員、各分団によるポンプ操法では、ふだんの訓練の成果をみごとに発揮して、その〝操法演技〟ひとつひとつに拍手が送られました。ポンプ操法終了後、消防活動に功績のあった次のみなさんの表彰を行いました。

▲小型ポンプの点検をする管理者（村長）

功績章

佐藤　清（和四）
大平征夫（西中）
田村二郎（和五）
宝輪睦雄（間五）
佐藤　衛（間三）

精勤章（二十年以上）

鈴木鴻司（間六）

精勤章（十年以上）

遠藤栄一（夏井）
佐藤成喜（高橋）
月岡健作（津雲田）
本間常雄（金池）
後藤　勉（分署・橋本）
池上　強（分署・和一）
小柳静治（分署・和一）

機械器具点検優良表彰

第二分団第一部（夏井）
安藤俊幸（和九）
本田正勝（津雲田）
本多吉秀（津雲田）
阿部栄智（西中）
野水作一（高畑）
岡島　仁（高畑）
高橋英夫（金池）
井ノ上鉄夫（金池）
本間駒吉（岩室）
田中　厚（樋曽）
村田重人（間一）
高綱　武（間五）
阿部文雄（間七）
中野武雄（間七）

社協だより―No. 21

先進地法人化の社会福祉施設を視察して

社会福祉協議会
会長　本間　八十太郎

環境の支配下の心の動静

桜に桃をこきまぜた桃源郷も東の間。目にしみる新緑、若葉を渡る涼風。心の眼を開いて静観凝視した場合、これらはみな造物の神―大宇宙の恩寵の賜であり、天地と我は同根万物すべてが仏性を包蔵しており、これの出現である。「人間は自然に還るものなり」の東洋思想が油然として湧き出づることを禁じえぬものがある。

かくしての環境によって慰問の心に深見が加わる。

施設視察慰問の心掛けに三省

視察というと、一般に観光を考え易いが、むしろ慰問するという意味で全く違ってこなければならない。心眼を開き、立場を代えて感情移入し、和顔、慈眼、愛語をもって慰問することが肝要である。

西国～四国～越後札所の巡拝と同じく、自らの洗心行事としての心掛けこそが大切である。かくしての心境で一人でも多くの善男善女の慰問を行う次第である。

社協の中心課題は何か

施設の実務担当者は、「要は人の問題―広大円満無礙の大慈心―観世音菩薩そのものの行である」人間が生産の手段として、金が人間を支配する唯物の社会悪風潮の只中で、金銭を度外視しての神父であり聖母であり愛善慈心をもって入所の方々をお世話しておいでの現況を観て、各位に有がたさが湧き出て、「ご苦労様」と合掌の気でいっぱいになる。泪ぐましい尊い姿に接し、自ら顧みて心中忸怩なるものを覚える。

入園者への心理的考慮

老人が家に帰って孫の顔が見たい……この心理をとらえてホームの老人と聖母園の幼児と一緒に遊ばせる。

在宅福祉を強調したい一面、日本古来からの家の生い立ちからをも考え合わせてみたいものである。親子の無理心中をなくする工夫に意を持ちいていること。子は親の身であるから本能的に考えた場合、死の道づれは自然であるが、理性を与えられている人間としては道義的には、罪悪であることを強調したい。

老人の四悪排除、四善実現に意を注ぐこと

病弱、貧困、孤独、無力の四悪を根絶して、快食、快便、快働、快笑の実現に意を注で運営に力点をおいていく。

心身障害児と健常児との温かく無理のない交流を、いかにすべきか。一般現実社会に自然と両者の交流があり、弱者をいたわる心がこの場で養われる。

これへの考慮、偏見、差別のひがみの根性なくすることに各学校に併設してのミニコロニーの施設がほしいものである。

宿願を追記

単なる視察でなく立場を代えての慰問でありたい。慰問の意味を一層活かすべく、当事者と入園者代表、慰問者の三者が渾然一体となって意見交換の時間をとりたい。また、慰問者各自がポケットマネーを出し合って神仏参拝に浄財をあげて合掌する、あの心理で慰問品なりを提供して一層の心の清浄をはかりたい。

社協の法制化の声までで、また昨今を考えた場合、これが制定段階としての法制化を促進しがたい。

社協の輪を広げる横の一面に合わせて縦の面を各委員（社協・民生）はもちろん、教育者、宗教家が陣頭に立って強調し、合わせて社協の補完的役割から蟬脱して先駆的役割まで脱皮したい。

＊―永年ご苦労さまでした―＊

退団者感謝状

三富勝弥（樋曽）
佐藤　宏（和一）
幸田一郎（和二）

気をつけて!! 〝花火遊び〟

大人も子供も……家族みんなで楽しめる花火は、夏ならではの風物詩です。

最近は〝おもちゃ花火〟もいろいろな種類が出回り、取り扱いも複雑なものが増えています。そのため、一歩取り扱いを間違えると、ケガや火災など思わぬ事故に結びつきます。〝おもちゃ花火〟だからといって軽くみるとたいへんなことになります。

夏の夜をいろどる風物詩も、原料は危険な火薬であることを忘れないでください。

花火遊びは、まず〝花火の性質・取り扱い方〟を十分に理解してからにしましょう。

また、子供だけでは決して花火をさせないように。子供同士で、大人に隠れて花火をしたために、やけどをしたり火災を引き起こしたりという事故が後を絶ちません。必ず大人が付き添うようにし、付き添いがある場合でも火災予防の点から、風の強い日には花火をするのはやめましょう。

以上のような点に気をつけ、せっかくの夏の楽しいひとときが、ちょっとした不注意から悲しい事故とならないよう注意しましょう。

日本の主食・米　4米とアメリカ人

アメリカやスウェーデンでは、日本の食事を手本に、食生活改善運動が進められています。

アメリカを例にとりますと、脂肪や砂糖のとり過ぎによる心臓病や肥満が大きな問題になっています。その対象として、アメリカ上院は「アメリカ人の食事目標」を定めました。これによりますと、摂取総カロリーのうち、脂肪の割合をこれまでの45%から30%に引き下げ、炭水化物を42%から60%に引き上げることが目標になっています。

この目標、実は、米を主食にしている日本人の平均的な食事内容に非常に近いものです。

アメリカでは、目標達成のため、低脂肪、低カロリーの「米」を利用する運動が進められており、「米療法」という言葉がきかれるほど、米への関心が高まっています。

▼アメリカ人（1974年）の栄養摂取状態

脂肪		炭水化物		
動物性脂肪	植物性脂肪	たんぱく質	でんぷん質	砂糖
16%	26	12	22	24

▼アメリカ人の栄養摂取の目標

10%	20	12	48	10

危険物取扱者試験

危険物取扱者試験が行われます。日程は次のとおりです。

期日　七月二十九日（金）
午前九時四十分から
会場　新潟市・三条市
試験科目　甲種
乙種四類
丙種

――くわしくは南部消防署室分署（☎②三三六〇）にお問い合わせください。